

今号の内容 ページ

- ◆みんなの力で飲酒運転ゼロへ 2~3
- ◆資源物指定袋での収集は10月7日から 4
- ◆住基カードが10月9日から多機能化ほか 5
- ◆うまかもんつくりぐっちょ進行中ほか 6
- ◆スポーツ栄誉賞の受賞者を紹介ほか 7
- ◆市民のひろば(8-9) ◆俳句(9) ◆情報わいど(10-13) ◆がんばったね(14) ◆もちふみデビュー(15) ◆人権・同和教育シリーズ(16)



## 中山保育園元気に再開

九州北部豪雨で被災した中山保育園(柴田博隆園長)が、9月1日に再開しました。被災した2つの園舎のうち1つを3歳未満児が、同園が60年前に保育園を始めたという照安寺の本堂を3歳児から5歳児の園児が使っています。柴田園長は「再開することができてほっとしています。子どもたちが戻ってきて、保育園の雰囲気明るくなりました」と話しました。また、「保育園に戻ってこられて、とてもうれしいです」と再開を喜ぶ園児たち。9月15日に催される「第18回人権フェスタなかやま」で披露するダンスの練習にも力が入り、体を大きく使って元気よく踊っていました。

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介いたします。今回は、中山小学校2年生の2人です。

友だちはいいなあ



まつかど りゅうき  
松門 龍輝 くん

ぼくたちのクラスでは、まい日、かえりのかいの時に、友だちのいいところを、一人ずつ言います。

今日は、どんないいところを言ってもらえるかたのしめです。ぼくのいいところを言われるとうれしくなります。言ってもらえないときも、友だちのいいところが聞けるから、うれしいです。

いるのがよく分かります。

うれしい気もちでかえります。まい日、友だちはいいなあと思います。

でも、けんかをするときもあります。そんなとき、6年生が、りよう方のいいけんを聞いて、なかなかおしえてくれます。

6年生は、やさしいなあと思います。ぼくも、6年生のようにやさしくしようと思いました。

ありがとう



いぬい ひろし  
井上 広誠 くん

べんきようをしていて、分からないとき、友だちがおしえてくれたり、ぼくがおしえたりし

ます。

「分からんけん、おしえて。」と友だちに聞くと、

「ごめん分かんない。」

「百のへらひをへらへるといいます。」

「ごめん分かんない。」

「あつ、そうか。分かった。ありがとう。」

と、ぼくは言います。

ぼくが、友だちにおしえたときも、

「ありがとう。」

と言ってくれます。とってもうれしい気もちになります。

クラスの友だちが、音読カードをくばってくれます。

「ありがとう。」

と言つと、ここにごえがおになるのがうれしいです。

たてわりそつじの時、かぎをもつて行くと、6年生のりゅうせいくんが、

「まい日、ありがとう。」

と言ってくれるので、つきもがなほろうと思いました。



【評】いつも「ありがとう」が響き合う教室。友だちのいいところをたくさん見つけて、伝えることのできるみなさん。そんなみなさんの姿を見ると、私も幸せな気持ちになります。ありがとう。これからも、やさしい心をいっぱい広げていってくださいね。